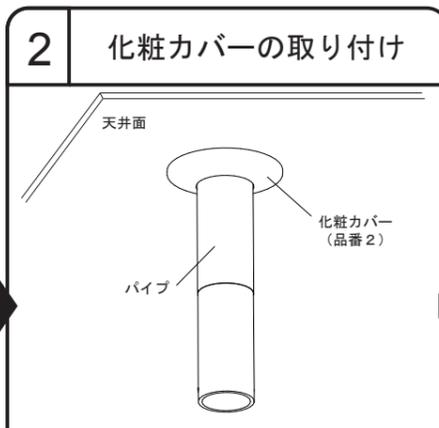
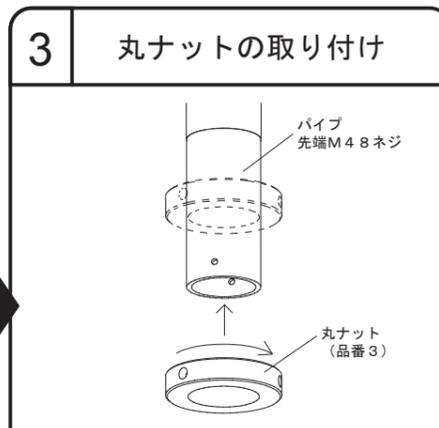


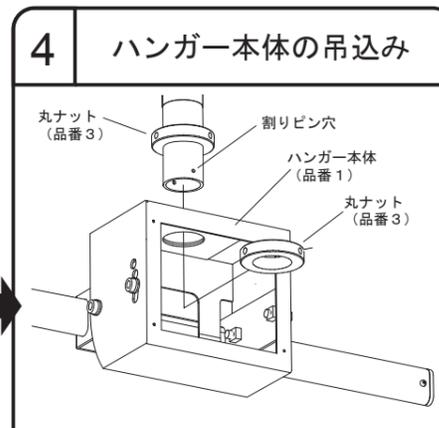
ハンガー本体 (品番1) 裏面の背面カバーのトラスビス (4本) を緩め取外します。
外した裏板カバーは最後に再度取付ます。



あらかじめ天井に設けられたパイプの天井貫通部に化粧カバー (品番2) を取り付けます。
パイプ先端より化粧カバーを天井仕上げ面まで挿入します。



あらかじめ天井に設けられたパイプの先端に丸ナット (品番3) 1個をねじ込みます。
ねじ込み位置はパイプ先端のネジ長さの中間あたりまでねじ込んでおく
と後の高さ調整が容易です。

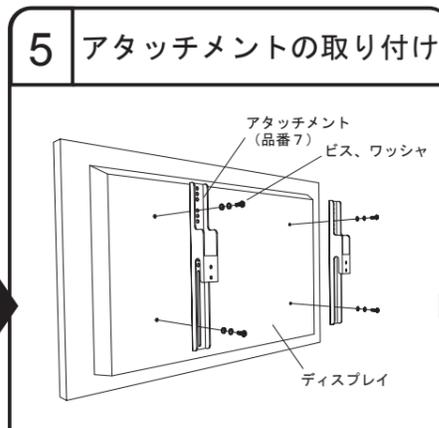


パイプの先端をハンガー本体上面に設けられた丸穴に挿入し、丸ナット (品番3) をハンガー本体の背面内側よりパイプ先端にねじ込み、仮固定します。
また、丸ナット外れ防止用割ピン (品番4) も右図の用に差込ます。

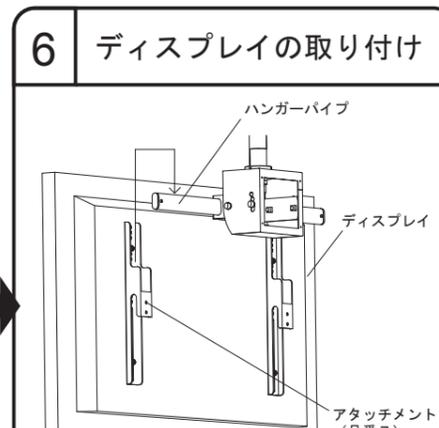
※丸ナットを締め込み過ぎるとハンガー本体の水平角度調整が難しくなります。

警告
作業時、ハンガー本体が落下しない様、十分注意して下さい。

VESAプレート(オプション)使用時

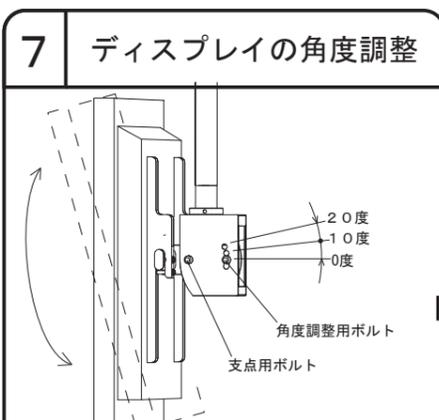


アタッチメント (品番7) 2個をディスプレイ背面に取り付けます。
アタッチメント取り付け用ビスは部品箱中のビスパック (品番6) よりディスプレイ本体に設けられたネジ寸法にあった物を選定の上、取付けて下さい。
アタッチメントには上部に丸穴、下部に長穴が設けられております。
先に上部丸穴を基準にネジ固定し続いて下部長穴をネジ固定して下さい。
ディスプレイによってはディスプレイ背面とアタッチメントの間に樹脂スペーサーが必要な機種があります。
必要時にはビスパック (品番6) 中の樹脂スペーサーを使用の上、取付けて下さい。



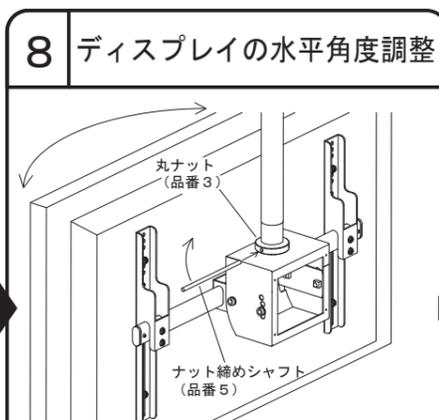
ハンガーパイプにディスプレイ背面に取り付けたアタッチメントの凹部を引っ掛けます。
この時、ディスプレイ中心がハンガー中心に来るよう位置を確認して下さい。
位置固定用ネジM8 x L20と落下防止用ネジM8 x L35 (平ワッシャー付)

警告
中までしっかりねじ込む



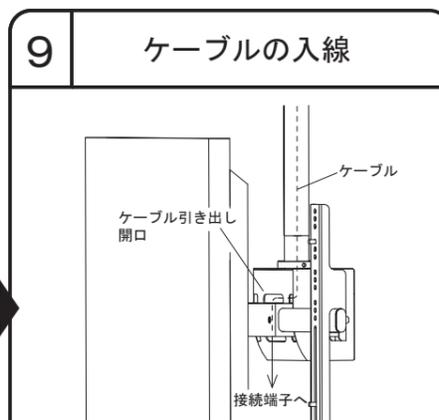
ディスプレイの角度は0度、10度、20度の3段階の調整が可能です。
ハンガー本体側面のボルト (M10) を緩め、調整して下さい。
※L型レンチは準備下さい。

警告
角度調整用ボルトを緩める際は、ディスプレイが急に傾斜しない様に、下部を支えて下さい。

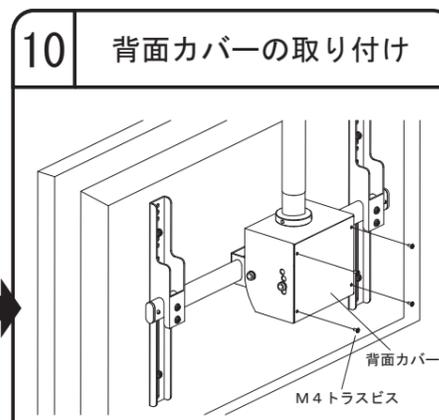


ディスプレイの水平角度を任意の位置に調整の上、上部丸ナットを締め付けて下さい。
丸ナット締め付け時には側面に設けられた窪みにナット締めシャフト (品番5) を差し込んでしっかり締めつけて下さい。

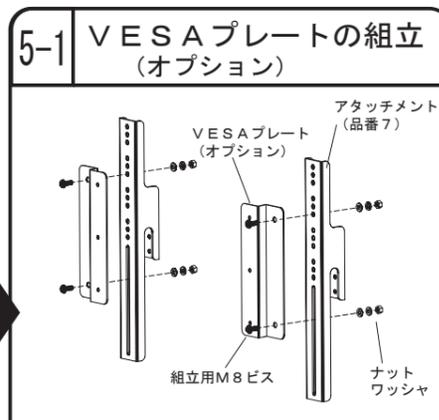
警告
角度の調整は、ディスプレイを持たず、ハンガー本体を持って下さい。



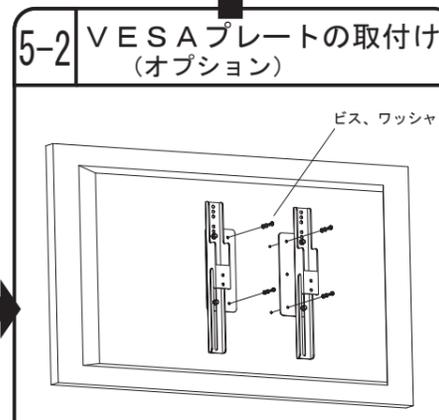
ディスプレイへの電源ケーブル、映像ケーブル等はハンガー本体前面の開口より引き出し、ディスプレイの接続端子と接続して下さい。



1項で取り外した背面カバーを取り付けて、ハンガーのセッティングは完了です。



アタッチメント (品番7) とVESAプレートを組立ます。
組立用M8ビス類はビスパック (本体同梱) より取り出して下さい。



VESAプレート付アタッチメントをディスプレイ背面に取り付けます。
取り付け用ビスは部品箱中のビスパック (品番6) よりディスプレイ本体に設けられたネジ寸法にあった物を選定の上、取付けて下さい。

※安全上のご注意
安全にお使い頂くため、必ずお守りください。

警告 この表示欄は、「死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度」です。

警告
※組立方法はこの説明書に従って施工してください。
※組立は、必ず取扱店または当社に依頼ください。
※設置するスラブ面は、十分な強度がある事を確認して下さい。

※設置後の角度、水平角度の調整は所定のボルトを緩めた後行ない、調整後緩めたボルトを確実に締め付ける。
※ディスプレイやハンガーにぶら下がったり、ゆすったりしない。
※定期点検を行なって下さい。

株式会社 ケイアイシー
KIC 〒160-0022東京都新宿区新宿1-28-3
TEL 03-3357-7195(代)
http://www.kic-corp.co.jp

取説No. 3116
リサイクルペーパーを使用しています。 MADE IN JAPAN